

ふうたのワンポイントレッスン

Vol.16 代理店監査におけるプロ代理店の体制（態勢）整備課題（6）
～未来展望のある保険事業会社への移行整備～

体制整備の豆知識の Part7、6 回目は「未来展望のある保険事業会社への移行整備」についてお届けします。

コロナ禍で変わり続けるビジネス環境において、持続的に成長していくためには、どのような組織体制が必要でしょうか。

進化する IT 技術の情報を収集し、自社の業務効率があがるものを選択して取り入れ、環境変化に対応するために活用することが、これから保険事業会社にとって常に必要となります。

まずは、未来展望のある「事業計画」を考えることです。

（１）保険事業会社は、業務運営する人財（社員）が組織運営を支えています。

現在、会社員の 3 分の 2 以上が、週に 2 日以上、オフィスから離れて仕事をしたいと考えています。

柔軟な働き方ができるかどうかは、多くの社員にとって重要なポイントとなっており、パフォーマンスの高い人材の獲得につながります。また、これから社会に出てくる若い世代は、仕事はどこからでも作業ができるツールを使ってするものだと考えています。

（２）仕事は特定の場所でするものではなくなりました。

パンデミックの中で社員は、個人の時間と仕事の時間のバランスを取るのに苦労しているようです。社員がしっかりと線引きをし、バランスを取れるよう会社の支援も必要です。特に在宅勤務においては、不正なソフトウェア、フィッシング攻撃、迷惑メールのブロックなど情報セキュリティ対策が必要となります。

(3) WEB会議システムを採用して、社員がオフィスと自宅のどちらで仕事をしているか関係なくなります。

出社勤務から在宅勤務に移行するにあたり、顔を見てお互いを思いやる社風を育てていくのにオンラインは役立ちます。リアルタイムの共同作業、WEB打合せ、あるいはオンラインによるコミュニケーションでのストレス軽減など、いろいろな方法でリアルと同様に活用できます。

(4) WEB会議をするうえで大切なことは、何のための会議か、会議目的を明確にし、説明すること、そして資料は事前に提供して共有する時間を守ることです。

WEB会議は、開始と終了の時間をあらかじめ決め、時間を守る運営が大切です。参加社員が会議で意見や考えを出せるように改善提案や発言を行えるようにすることがリアルな会議と同様に大切です。また、フロント業務の社員を含むすべての社員がクラウドのファイルを使えるようにすることで、業務がスピーディーに推進できるようになります。

(5) 新型コロナウイルス感染症により仕事を取り巻く環境が大きく変わりましたので、変化に対応した顧客本位な業務サービスが必要となります。

自社の募集プロセスやツール装備を見直し、整備して活用できるように実効性のある教育・指導をすることが重要です。

変更に伴う混乱や管理作業をできるだけ少なく抑え、社員が新しいツール装備をすばやく簡単に使い始められるようにすることが大切です。

これからも未来展望のある保険事業会社へ移行していくためには、社員が効率的に業務を行えるような組織体制に変革し、社員が革新的に働けるような会社の環境整備がもっとも重要です。

作成：日本代協アドバイザー 日本創倫株式会社 代表取締役（CEO） 山本 秀樹

配信：日本代協事務局